

(別紙4(2))

事業所名 グループホームほほえみ栄町

## 2 目標達成計画

作成日: 令和 3 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	職員は法人の理念を知っているが、理念を深く理解し、日々のケアに反映させていく意識を持つ必要がある。	法人理念を軸に、より日々のケアに生かせる「ほほえみ栄町の目指すもの」を職員間で共有する。	職員自身が目指す事業所とはどのようなものか、職員全員で話し合い、確認し合う。 0.5ヶ月
2	1	//	//	法人理念と共に、ほほえみ栄町の目指すものを毎月のミーティングで唱和し、個人個人で具体的な実践目標を立て、半年ごとに面談時にフィードバックする。 12ヶ月
3	35	防災、災害時に地域と協力し合える関係を構築する必要がある。	互いに協力できる範囲を確認し合い、地域と施設合同での避難訓練が実施出来るようにしたい。	年2回施設内での防災訓練に参加して頂けるよう、声をかける。2カ月ごとの運営推進会議にて、双方の希望や協力範囲を確認していく。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。